

燦々

SANSAN
光り輝く



特集 生産履歴の提出方法が変わります!!
農産物生産工程管理システム「apras(アプラス)」について

厚真町花卉部会フラワーアレンジメント講習会

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.180



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-2712241
北海道厚真郡厚真町錦町10番地2
FAX 0145-2713941

平成29年3月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
メールアドレス
info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

4月1日(土)より営業時間に変更となります

			厚真 支所	穂別 支所	早来 支所	追分 支所	白老 支所	苫小牧 支所
事務所	一般部門	平 日	8 : 30～17 : 00				8:45～17:00	
		土曜日	8 : 30～12 : 00				8:45～12:00	
金融 部門	窓口 (土・祝日休)	月～金	8:45 } 16:45	9 : 00～16 : 00			8:45 } 16:30	9:00 } 16:30
	ATM (祝日休)	平 日	8 : 45～18 : 00					8:45 } 19:00
		土曜日	9 : 00～13 : 00		休 業			9:00 } 17:00
スタンド (日曜休み・祝日営業)		月～土	8 : 00～18 : 30					
		祝 日	8 : 00～17 : 30					
Aコープ (日曜休み・祝日営業)		月～土	9:00 } 19:00	9:30 } 19:00				
		祝 日	9:00 } 18:00	9:30 } 18:00				

プレゼント

下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。
抽選で図書カードをプレゼントいたします。
FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。
(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)
多くのご応募お待ちしております。

締切 3月31日(金)

当日消印有効。発表は4月号です。

キリトリ線

●イラスト

●3月号のまちがいがしの答え

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒

住 所:

氏 名:

年 齢:

電話番号:

●組合員
●一般

歳

01

広域

種子供給に向け施設稼働

水稻種子温湯消毒作業

2月20日、厚真町上野の温湯消毒施設では、平成29年度水稻の種子供給に向け、水稻種子温湯消毒作業が始まった。平成22年よりクリーン農業推進に係る減農薬の取り組みとして行っている同作業も今年で8年目を迎える。

今年の取り扱いは、ななつぼし55tをはじめ、ゆめぴりか、きらら397、ほしのゆめなど合わせて88t。7名の作業スタッフが約1ヶ月の作業行程中、手際よく消毒作業を進めている。

種子ネットに入れられた種粉は60度のお湯の中で殺菌。その後冷水で冷やされ、



▲温湯消毒作業の様子



▲脱水された種粉を専用のラックへ

乾燥の工程へと移る。種粉の乾燥状態はその日の気温や湿度に応じて変化を見せるため、乾燥室の温度管理に担当者は気が抜けない。また、乾燥後も種子の発芽状態を確認するため随時発芽試験を実施し、徹底した品質管理に努めている。

温湯消毒については、化学農薬を使用したものと同等の消毒効果を得られるが、近年の水稻栽培にあたっては、ばか苗の発生する圃場が散見されている。ばか苗発生要因に思いあたる事がない場合は、営農課クリーン農業係へ相談していただきたい。

広域

苫小牧圏一次産業懇話会

農商工連携による経済活性化に向けて

1月30日、苫小牧近郊を含む一次産業関連団体と経済団体、行政など10団体でつくる苫小牧圏一次産業懇話会が苫小牧市内で開かれた。各団体トップの意見交換を通じて、苫小牧圏を基盤とする一次産業の絆を地域行政や経済団体らと情報交換を行うことでより強固なものとし、農商工が一体となつて経済活性化の方策を見いだすことを目的に例年開催されている。

懇話会とはまこまい広域農協の呼びかけで10年前に発足し、今回の懇話会には各関係機関・団体の代表者ら20名が出席した。

秋永徹組長は冒頭の挨拶で「一次産業の課題を共有し、どう経済を発展させ



▲開催にあたって秋永組長が挨拶



▲各団体との活発な情報交換が行われた

るかが大事となる」と各団体間との連携の必要性を呼びかけた。

出席者からは農業、林業、漁業、観光の立場で話題喚起され、「苫小牧市がリーダーシップを持って海外輸出を行うってほしい」「地産地消を進める中で、バイヤー等が関心を持つ取り組みから、苫小牧地域の食料発信を進めてはどうか」等、活発な要望や意見が交わされた。

出席した団体名

苫小牧市、苫小牧広域森林組合、苫小牧漁業協同組合、苫小牧商工会議所、北海道中小企業家同友会苫小牧支部、苫小牧観光協会、苫小牧消費者協会、ホクレン苫小牧支所、胆振生産農業協同組合連合会

広域

第6期 全4回講義を終了

J Aとまこまい広域フロンティア塾

2月23日、J Aとまこまい広域本所にて第6期フロンティア塾の最終講義を開催した。全4回の最後となる今回の講義では、有限会社スバイス・ゴーゴ代表取締役のイデ・ゴウ氏を講師に招き、「地場農産物へのこだわりと魅力について」と題した講演会が行われ、10年間勤務していたホテルのホールサービスでの経験や、スーパー専門店「札幌つつきよ」開店の経緯、北海道産農産物との関わりなどについて講演された。

その後の昼食としてイデ・ゴウ講師によるスーパカレと広域産「たんとまい」ななつぼしのケータリングサービス



▲イデ・ゴウ講師による講義



▲農業機械メンテナンスを学ぶ塾生

が振る舞われ、参加者の舌をつならせた。午後からはJ A農機車輛センター協力の下、農業機械のメンテナンスをテーマにした講義を実施。農業機械の点検・整備の必要性や、日常的に点検することによって修理費の減少や機械の寿命延長などのメリットについての座学を行った後、会場を農機車輛センターに移し、トラクターの点検・整備するポイントについて、実物を示しながら説明した。閉講式では平成29年度フロンティア塾の実施計画や、外部講習についての案内が行われた。塾生には継続した参加を、未参加の方も是非一度参加していただきたい。

広域

もぎたて市部会通常総会

販売額50,000千円を計画

J Aとまこまい広域もぎたて市部会（桐木政三会長）は第9回となる定期総会を2月21日、本所総合営農センターにて開催した。

総会に先立って行われた優良部会員表彰では、商品の継続的な出荷や対面販売活動、出荷商品のクレーム発生状況などを加味し、部会活動に最も貢献した生産者が称えられる。選ばれた部会員は厚真支所の桐木政三さん、小崎登美子さん、松永和美子さんの他、努力賞として昨年の台風等、悪条件の中であつても平成27年度以上の出荷・販売をした厚真支所の



▲総会開催にあたり挨拶する桐木会長



▲優良部会員表彰を受ける生産者

日西幸子さん、追分支所の武田農園も表彰され、出席者たちとともに喜びを分かち合った。

総会では平成29年度の販売計画などが諮られる中、荷受・輸送体制や意見交換会の開催内容及び対面販売の計画の他に、信頼ある商品提供に向けたクレーム処理対応の要領などが示された。

昨年度会での販売額は、販売個数の増加やホクレンシヨップフードファーム苫小牧しらかば店の本格稼働により前年を上回る43,879千円の実績となり、今年は更なる販路拡大を図りながら50,000千円の販売計画を見込んでいる。

白老

白老地区農業振興懇談会開催

「白老牛」繁殖・肥育・販売推進について活発な意見交わされる

2月1日、白老町役場にて平成29年度白老地区農業振興懇談会が開催された。これはお互いの情報交換と事業推進を図ることを目的として例年行われており、当JAからは秋永組合長と楠野専務、白

老地区理事他担当職員が、白老町からは戸田町長、岩城副町長、農林水産課担当職員が出席した。

報告事項については、JAからはJA（農）白老牛改良センター運営状況等事業推進重点事項について報告した後、白老町から平成28年度農業振興支援概要と生産基盤の拡充、白老牛肉の販売推進について報告され、その後意見交換を行った。

意見交換では、(1)「後継者・新規就農等担い手対策」、(2)「繁殖・肥育増頭に向けた生産基盤の確立」、(3)「白老牛肉の地産池消等販売戦略」等を主なテーマとして、出席者から意見や質問が多く出され、平成29年度事業に向けての重点取り組み対策について考えを1つにし、生産者の販売価格向上に繋がるよう進めることとした。

▲開催にあたって挨拶をする秋永組合長



厚真

厚真町花卉部会

フラワーアレンジメント講習

2月17日、厚真町花卉部会（桐木洋光会長）は定期総会開催に合わせ、JAとまこまい広域本所営農センターでフラワーアレンジメント講習を開催し、生産者や関係者など14名が参加した。これは消費者がどのような花を求めているのかを講習会を通じて知ること、今後の花の消費拡大に生かすことを目的に例年行われている。

講師に株式会社花の店紅葉山の高木一弘さんを招いて行われたフラワーアレン



▲沢山の花に囲まれ工夫を凝らす参加者

▲高木講師の指導の下行われた講習会



ジメント講習では、カーネーションやトルコキキョウなどの花を使用し、参加者たちは思い思いのアレンジを加えながら製作していた。参加者からは「今回は型にはまった方法ではなく、自分の思ったとおりアレンジすることが出来たのでとてもよかった」などの声が聞かれた。

部会担当者は「色々な品種を知った上で消費者と直に接することで、ニーズを的確に捉え付けや販売に活かしたい。そして常に新しい考え方を持ちながら生産・販売を盛り上げていきたい」と話した。

追分

アサヒメロン栽培技術講習会

高品質なメロン栽培に向けて講習会を実施

安平町追分では追分アサヒメロン組合（佐藤信一組合長）による「アサヒメロン栽培技術講習会」が2月3日と22日の2回に分けて追分支所にて開催された。同組合では、産地としての信頼を確保する上で栽培技術の均一化を図ることを重要視して取り組んでおり、農作業が本格化する前のこの時期に毎年講習会を開催している。



▲真剣に講習を受ける出席者

今年も各種苗メーカーから講師を迎え、2月3日には主力品種である「ルピアレッド・ルピア325」について、22日には抑制品種の「レッド113・ティアラ」についての講習が行われ、参加者は栽培基本技術を再確認した。また、普及センターより昨年実施した品種比較試験の結果報告があり、今年も品質の良いメロンを作ろうと組合員は皆真剣な表情で説明を聞いていた。

22日には追分アサヒメロン検査長委嘱式も併せて開催され、佐藤組合長から7名の検査長へ委嘱状が手渡された。



▲佐藤組合長（写真左）から各検査長に委嘱状が手渡された

穂別

穂別支所担い手対策検討会議

今後の地域の課題に対して意見交換

2月7日、JA穂別支所は農協青年部穂別支部（東洋一支部長）の部員を対象とした「担い手対策検討会議」を同支所農業センターにて開催した。

この会議は、後継者が将来についてどのように考えているのか、JAとして把握していくこと、後継者も将来について、ぼんやりとしたイメージはあっても話す場所も少なく、情報・知識不足であることから、少しでも不安要素を取り除き、それぞれが地域農業のビジョンを持つて将来に備えてもらうことを目的に行われ、青年部員16名とJA職員が出席した。



▲今後の穂別地区の課題に対する意見交換が行われた



▲青年部を代表して東支部長が挨拶をした

川地区で新規就農者の受け入れが進んでいるが、穂別地区では難しいのか「平成28年度は『三代目 JA Soul Brothers』や穂別の特産品の動画作成で穂別農業をPRしてきたが、JAがこれからの青年部活動に求めていることや、期待していることを教えてほしい」等、幅広い内容の意見交換が行われた。

東支部長は「これから10～20年先、自分達が地域の柱となつて穂別農業を守っていかなければいけない。各々がしっかりとビジョンを持ち、今から準備できることを着実に実行していきたい。そのためにもJAや行政との関係を密にし、情報共有をしていきたい」と話した。

会議の中

では、耕地面積の拡大や農業従事者の高齢化、労働力の確保等、今後穂別地区が抱えるであろう課題を主体に意見交換が行われ、「鵜

厚真町教育委員会主催の第22回室内ソフトボール大会が2月13日～16日の日程で、あつまスタジアムにて開催され、当JAからは若手職員組織「JAとまこまい広域交歓会」が参戦した。同大会は冬の健康づくりと交流を図ることを目的に例年開催されており、自治会や職場団体などで編成された10チーム、約180人が参加した。

大会はトーナメント方式で行われ、1チーム8人出場の内、常時女性2人以上が出場しなければならない、打球が天井に当たるとアウトになるなど、独自ルールを設けている。



▲白熱した試合となったソフトボール大会



▲ソフトボールを通じて交流を図った交歓会

交歓会としては昨年続き2度目の参戦となり、JA野球部メンバーの他、本支所の新人職員も加わり、真剣勝負の中にも和やかな雰囲気で行われた。交歓会は1回戦、2回戦を勝ち上がりベスト4を決めたものの、続く準決勝、3位決定戦では今一歩及ばず惜敗し総合4位に入賞した。

交歓会会長の目見職員は「JA交歓会が少しずつ地域に浸透してきている様に感じる。今後このようなイベントには積極的に参加し、地域との交流を深めたい」と話す。

第16回通常総代会



期日:4月11日(火)
時間:午前10時～(開場9時)
場所:厚真町総合福祉センター

第16回通常総代会が4月11日、厚真町総合福祉センターで開催されます。平成28年度事業報告、及び平成29年度のJAとまこまい広域事業を組合員の皆様に諮ります。

また、総会終了後には会場入り口にて、「たんとまい」や「おふくろみそ」、「広域産小麦粉」、「ハスカップゼリー」などの広域特産加工品や農産物を特別価格でご提供致しますので、総代の方々はもちろんのこと、青年部・女性部・一般組合員の多くのご来場をお待ちしています。

平成29年度 春季組合員懇談会

平成29年春季組合員懇談会が、以下の日程で開催されます。総代会議案をはじめ農業振興基金メニュー、JAお得情報など、各種の意見交換を予定していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

時間帯	10:00～	13:30～	18:00～
3月23日(木)		厚真(厚南会館)	厚真(営農センター)
3月24日(金)	追分(追分支所)	早来(早来支所)	穂別(農業センター)
3月27日(月)	白老(蔵)	苫小牧(苫小牧支所)	

人事異動

3月1日付
新役職(旧役職)

- 【本所】理事参事兼信用担当理事
(理事参事兼信用担当理事兼金融部長 阿部 洋己)
- 【農業振興本部】農業振興副本部長兼販売企画部長兼販売企画課長兼施設課長
(農業振興副本部長兼販売企画部長兼販売企画課長 明河 新一)
- 【内部審査室】内部審査室長兼企画管理部次長兼管理課長
(内部審査室次長兼金融部融資課長 飯尾 清司)
- 【企画管理部】企画管理部長
(企画管理部部長兼内部審査室長兼管理課長 畑島 武夫)
- 企画管理部経理課長
(企画管理部経理課長 木村 由香)
- 企画管理部管理課管理係兼審査部審査課審査係
(企画管理部管理課管理係兼審査部審査課審査係 窪田 啓秀)
- 企画管理部管理課管理係
(金融部融資課管理係 澤田 聖美)
- 企画管理部経理課経理情報係
(早来支所資材燃料課生産資材係 河口 正子)
- 企画管理部付主任
(早来支所金融共済課金融共済主任 後藤 翠)
- 企画管理部付
(穂別支所金融共済課金融共済係 柴田いずみ)
- 【金融部】金融部長兼苫小牧支所長代理
(苫小牧支所長 竹澤 美幸)
- 金融部次長兼融資課長
(早来支所金融共済課長 森 博樹)
- 金融部貯金課貯金調査役兼審査部審査課審査係
(金融部貯金課貯金調査役兼審査部審査課審査係 山下 洋平)
- 金融部貯金課貯金係
(早来支所金融共済課共済係 北川 知世)
- 【共済部】共済部次長兼自動車事故センター長
(苫小牧支所金融課長兼総合渉外課長 保科 敏史)
- 共済部共済課長
(共済部共済課長補佐 窪田 誠司)
- 共済部共済課共済調査役
(共済部共済課共済主任 谷間 沙霧)

- 【審査部】審査部長兼審査課長
(穂別支所長 中村 賢樹)
- 【営農部】営農部営農課営農係
(経済部機械燃料課厚真給油所係 本田 健悟)
- 【販売企画部】販売企画部施設課長補佐兼農産部農産課農産係
(農産部農産課審査役 中村 清人)
- 販売企画部施設課施設係長兼農産部農産課農産係
(農産部農産課農産係 戸坂 嘉伸)
- 販売企画部施設課施設係兼追分支所営農農産課農産係
(追分支所営農農産課農産係 井筒 亮)
- 販売企画部施設課施設係兼追分支所営農農産課農産係
(追分支所営農農産課農産係 中島 英男)
- 販売企画部施設課施設係
(農産部農産課農産係 明石 啓嗣)
- 販売企画部施設課施設係兼早来支所農産課農産係
(早来支所農産課農産係 原子 優斗)
- 販売企画部販売企画課販売企画係兼施設課施設係
(販売企画部販売企画課販売企画係兼施設課施設係 大島 裕孝)
- 販売企画部施設課施設係
(農産部農産課農産係 尾谷 和紀)
- 【農産部】農産部長兼販売企画部販売企画課販売企画係兼施設課施設係
(農産部長兼販売企画部販売企画課販売企画係 武田 徹)
- 農産部農産課長兼販売企画部施設課施設係
(早来支所農産課長 横山 達也)
- 農産部之菜園芸課長
(農産部之菜園芸課長 小寺 裕則)
- 農産部農産課農産係兼販売企画部施設課施設係
(農産部農産課農産係 越後谷直広)
- 農産部農産課農産係
(農産部農産課農産係 片石 智輝)
- 農産部農産課農産係
(農産部農産課農産係 田中 正美)
- 【畜産部】畜産部長兼早来支所長代理
(畜産部長兼早来支所長 木林 茂樹)
- 畜産部次長
(畜産部次長兼酪農課長兼畜産課長 松久 弘志)
- 畜産部酪農課長
(苫小牧支所生産課長 田中 正美)

- 畜産部畜産課長
(畜産部畜産課長補佐 居川 渉)
- 畜産部畜産課長補佐
(畜産部畜産課畜産係長 野脇 義章)
- 畜産部畜産課審査役
(畜産部酪農課酪農係長 秋田谷友希)
- 畜産部酪農課酪農係長
(畜産部酪農課酪農係 木村 十夢)
- 畜産部酪農課酪農係
(畜産部酪農課酪農係 遠藤 悠未)
- 畜産部酪農課酪農係
(畜産部酪農課酪農係 下田奈穂子)
- 【経済部】経済部生産資材課長
(早来支所資材燃料課長 三上 仁司)
- 経済部生活課長補佐
(経済部生活課長補佐 竹内 浩之)
- 経済部生活課Aコープ厚真店長
(経済部生活課Aコープ厚真店長 山口 栄一)
- 経済部機械燃料課厚真給油所係
(経済部機械燃料課生産資材係 石寄 敬)
- 【白老支所】白老支所生産課生産調査役
(農産部之菜園芸課之菜園芸調査役 菊池 博)
- 【苫小牧支所】苫小牧支所長兼金融課長
(金融部経営指導課長 熊谷 謙吉)
- 苫小牧支所総合渉外課長
(苫小牧支所総合渉外課長補佐 伊藤 史康)
- 苫小牧支所総合渉外課長
(苫小牧支所総合渉外課長補佐 遠藤 鉄也)
- 苫小牧支所金融課金融係長
(苫小牧支所金融課金融係 安藤 秀幸)
- 苫小牧支所金融課金融調査役
(早来支所金融共済課共済係 谷内 恵子)
- 【早来支所】早来支所長兼金融共済課長
(共済部次長兼共済課長兼自動車事故センター長 松浦 稔)
- 早来支所農産課長兼販売企画部施設課施設係
(早来支所農産課長補佐 佐藤 雄二)
- 早来支所資材燃料課長
(経済部生産資材課長 溝口 学)

- 早来支所金融共済課長補佐
(白老支所生産課長補佐 宗形 公輔)
- 早来支所農産課農産係長兼販売企画部施設課施設係
(早来支所農産課農産係長 森江 和宏)
- 早来支所農産課農産係
(早来支所農産課農産係 森 竜也)
- 早来支所資材燃料課生産資材調査役
(企画管理部管理課管理調査役 村尾真由子)
- 早来支所農産課農産主任
(早来支所農産課農産係 三上 早苗)
- 早来支所金融共済課共済係
(苫小牧支所総合渉外課総合渉外係 奥田 理紗)
- 【追分支所】追分支所営農農産課長兼販売企画部施設課施設係
(追分支所金融共済課長 青野 広幸)
- 追分支所金融共済課長補佐
(穂別支所金融共済課長補佐 橋本 淳)
- 追分支所営農農産課農産係長
(追分支所営農農産課農産係 竹山 幸司)
- 追分支所営農農産課農産主任
(追分支所営農農産課農産係 有沢 宏予)
- 【厚真支所】厚真支所長
(営農部厚真支所営農課長 浅野 真人)
- 厚真支所長代理兼営農課長
(企画管理部管理課長 池田 寿治)
- 厚真支所営農課農産係長
(営農部厚真支所営農課農産係長 本瀬 英司)
- 【穂別支所】穂別支所長兼営農農産課長
(農産部之菜園芸課長 近藤 克之)
- 穂別支所資材燃料課長
(穂別支所営農農産課長補佐 工藤 基)
- 穂別支所営農農産課長補佐
(穂別支所営農農産課長補佐 吉岡 淳)
- 穂別支所金融共済課金融共済係長
(畜産部畜産課畜産調査役 且見 暁)
- 穂別支所営農農産課農産係長兼販売企画部施設課施設係
(穂別支所金融共済課金融共済係 栗野 啓太)
- 穂別支所金融共済課共済係
(早来支所金融共済課共済係 高橋 小雪)

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

高度クリーン米 (特別栽培米)の 取り組み

1 特別栽培(農産物)とは

特別栽培農産物とは、平成13年に農林水産省が定めた「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に従って、化学合成農薬および化学肥料の窒素成分を慣行レベルの5割以上削減して生産した農産物です。北海道の場合、化学合成農薬の成分回数は11回以下、化学肥料窒素は5kg/10aを上限としています。

2 高度クリーン米生産の取り組み

全国的にみると府県の特別栽培米は農薬成分回数が7～8回が多く、これを下回る成分回数(本年は6成分)を目標とし、北海道の地域性を活かしつつより高い付加価値を求める消費者に提供できる米を生産することを目標としています。

厚真町では平成元年より特別栽培米の取り組みが始まり、平成27年から新たに特別栽培から一歩先行く「高度クリーン米生産」に取り組んでいます。

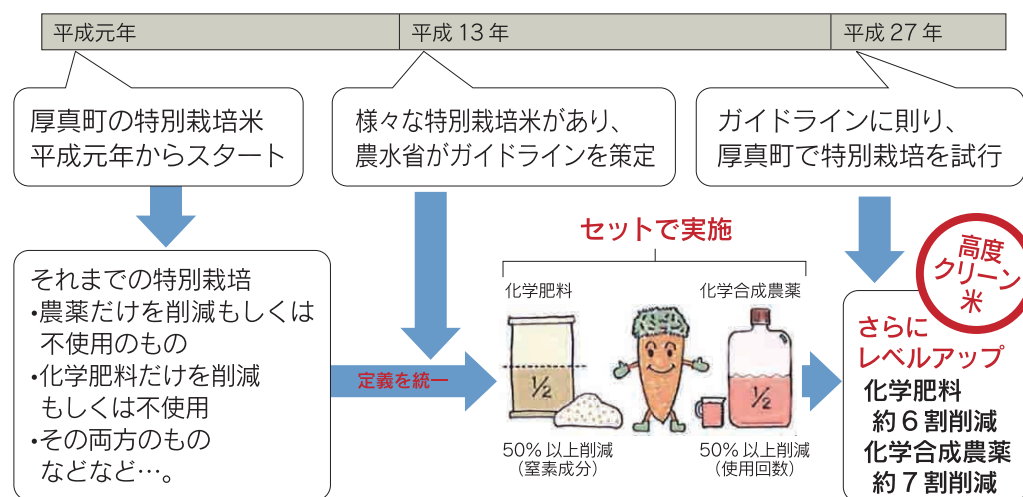


図1 特別栽培とクリーン米生産の経緯

3 高度クリーン米生産実績(平成28年度)

4戸281aで取り組んだ結果、全戸で化学肥料6割減、化学合成農薬7割減を達成し、「収量は慣行対比97%」「タンパク質含有率は0.3%高い」結果となりました。また、農薬は「粒剤や豆つぶ剤」の使用、「予察の実施」により経費はやや増加しました。

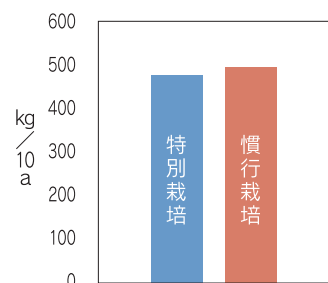


図2 収量

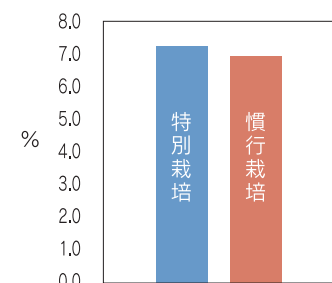


図3 タンパク質含有率

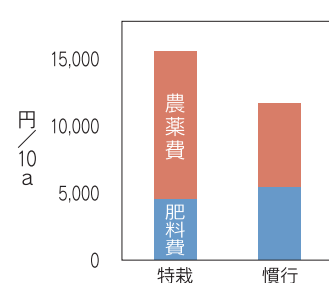


図4 農薬・肥料費比較

4 今後に向けて

高度クリーン米生産は、有機質肥料や効果の長い粒剤等を的確に使用しなければならないため、生産者の高い技術と観察力が必要です。また、場合により、収量減や経費の増加などリスクが伴います。「1ランク上の米づくり」により消費者ニーズに幅広く応えていくため、技術の体系化や販路拡大の支援を行います。

ワンポイント営農情報

平成28年度は作物栽培の大切な時期である6月～8月に、数度にわたって豪雨に見舞われ、生育低下や湿害による根傷み、病害等が発生し多くの圃場で収量低下を招きました。しかし、排水環境が良好な状態を確保している生産者は平年作をやや下回る程度の収量を確保しており、極端な収量低下を招いた生産者との格差が大きい結果となっています。今回は個人や小集団ですぐにでも取り組みが可能な排水対策への道筋についてご紹介致します。

気象変動への対策として注目される耕作地の排水・保水改善

6月中旬の生育初期と 8月中旬の生育最盛期を襲った 平成28年度の集中豪雨

単位 mm/月	厚真町		安平町早来		むかわ町穂別	
	平年 降水量	平成28年 降水量	平年 降水量	平成28年 降水量	平年 降水量	平成28年 降水量
6月	69	268	69	262	72	358
7月	126	156	125	137	136	182
8月	172	278	172	292	204	375
9月	129	126	135	122	146	105

えびす南瓜の事例
滞水の影響で下の株は上の株に比べて
著しく生育停滞
(左下) 根傷みて障害も発生



厚真町でみる降水量の気象データ

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月計
6月	6					3	40					1	7	8		22	96	3		47	1	1			22	13						268
7月		40	1						7								3	6	11	3				1	1		23	36	13	12		156
8月	5							2	11								82		5	16	43	17	83		1	8				4	5	278
9月						36		26	22						1		7	17					17				2	1				126

※少数点以下は四捨五入

昨年のように過去に例をみない降水量でも、排水対策が整備されていれば数日で100mmを超えるまとまった大雨の後に数日～半月程度降雨が少なく、土壌滞水状況から脱却できることが可能と判断されます。

クリーン農業係と相談して実践した事例

左側は自家作業の明渠整備で水位低下を目指す
中央はバンブレーカー施工で土層改良を実践



生産の安定化に向けて
湿害対策が最も大切
わかっているけれど
簡単ではない排水改善

《排水改良が確実に期待できる施工事例》

●機械の自家導入で可能な土層改良

サブソイラーやプラソイラーによる心土破碎、溝切り機による表層排水

●地域での共同導入と施工が望ましい圃場改良

レーザー均平機による傾斜地の改良、堆肥散布による保水力の強化
明渠の施工や排水路の整備は隣接水路と連続して効果を発揮

●農業開発公社の施工で硬盤層の本格的改良

バンブレーカーによる心土破碎、カッティングソイラーによる補助暗渠

JAでは、次期農業振興計画(JAプランVI)に
向けて様々な情報を基に、排水改善方策の作
成を予定しています。

排水改善へ積極的に取り組むため、個々の
改良意識の高揚と、集落や生産者組織におけ
る話し合いの積み上げが必要と考えています。

詳しい内容については、営農部営農課クリーン農業係までお問い合わせください。

〔電話番号 0145-27-2246〕

📧 今月のあたより

もう3月ですね。内地の方では桜のたよりがチラホラ聞こえてきましたね。北海道はまだですが、日に日に暖くなり、雪解けと共に桜の開花が楽しみです。ちなみに、我が家の桜もたくさん咲きますように。

むかわ町 小松 誠子さん

娘が3月に(就職が内定し)苫小牧へ引っ越します。さみしくなります。

むかわ町 山中 光治さん

寒暖差が激しいですね。風邪がなかなか治りません。

白老町 中出 広子さん

👉 編集者から

本州では春の訪れを告げる花は梅ですが、北海道は桜の方が先に咲くこともあって開花を待ち望む方も多いのではないのでしょうか。自宅に桜の木があると更に待ち遠しいですね。満開になるのを楽しみに待ちましょう。

👉 編集者から

子供が社会人になる為に家を出るというのは、長かった子育てが終わるということです。我が子の旅立ちを笑顔で見送り、これからの自分の人生を大切にしていきたいと思います。

👉 編集者から

日中は暖かく日が落ちると氷点下という日が続き、身体の温度調節がうまくいかず、風邪などを引きやすくなります。インフルエンザも落ちてきているようですが、3月頃になるとまた流行する年もあります。毎日の身体のケアを大切にしたいですね。

みんなのコーナー



安平町 小路 藍花さん



安平町 門田 まほさん

まちがしまがし

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の枠内の数字で答え、裏表紙の解答用紙に記入して下さい。



📅 プレゼント 2月号プレゼント当選者

先月号の答えは「2・3・7・9・12」でした。
応募総数19名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

小松 誠子(むかわ町) 中川 昌哉(白老町)
星 美雪(むかわ町) 植田 寿恵弘(白老町)
講 神 仁助(厚真町) 野口 千恵子(安平町) (敬称略)

職員異動 お疲れ様でした

企画管理部 2月28日付
平成26年4月1日入組 野原 南
白老支所金融共済課共済係、企画管理部管理課管理係を務める。

企画管理部 2月28日付
平成16年4月1日入組 松崎 良枝

企画管理部管理課管理係(㈲ジェイエサービス)、追分支所販売課販売係(㈲ジェイエサービス)、追分支所金融共済課金融共済係、企画管理部経理課経理情報係を務める。

営農部 2月28日付
昭和54年4月1日入組 高橋 亨

厚真町農協経済部生産資材課生産資材係、営農指導課生活経済指導調査役、農産課施設倉庫調査役、営農部農畜産課調査役、販売部農畜産課課長を務める。

J A合併後は、厚真支所販売課長、農産事業部農産課長、営農販売部次長、穂別支所長、営農部次長兼厚真支所長を務める。

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

支所名	氏名	享年	月日
厚真	渡邊 幸吉さん	70	1/7
厚真	加賀谷明美さん	77	1/16
早来	畑 喜久一さん	84	1/28
厚真	松平キヨイさん	97	1/31



丈夫な牛づくり・地域に必要とされる農業を目指して



井澤 佑介さん(30歳)
白老町陣屋町

昭和61年、白老町陣屋町に生まれる。北海道情報大学経営情報学部経営ネットワーク学科を卒業後、平成21年、帯広にて農業資材販売会社に営業として入社。平成25年に地元白老にて就農し平成26年に経営者となる。

畜産へのきっかけ
幼いころから祖母が牛を扱う姿を見て育ち、時折手伝いをして牛に慣れ親しんだ。大学に進学し、「卒業論文を書く時に思い浮かんだのは牛たちの姿だった」と話す。この時から畜産に興味を持ち、最初に就職した会社も帯広の農畜産に関わる会社だった。そこで営業として3年を過ごしたが、実際に肉牛、畜産に携わりたと思い、地元白老に戻って牧場を継ぐことを決心する。現在、繁殖牛30頭を飼養し父と妻の3人で営農を行っている。



将来を目指して
佑介さんが就農してから一番初めに思ったことは、牛の育成だけではなく、牧場としての仕事が多くなると感じた。機械の整備や施設のメンテナンスなど、やらなければならぬことや勉強することは数多くあることに気づかされた」と話す。経営者になって感じるのは、畜産業も高齢化の為、減少する農家戸数が増えていく耕作放棄地を今後いかに有効利用するか、また、若い世代で丈夫な牛をつくり、後継牛を増やしていくなどこれからどう改善していくべきかと話す。「将来、地域に必要とされる農家、農業を目指すため、日々勉強、奮闘したい」と語った。

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(2月) 平成29年2月9日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	41	854,537	1,134	2,636
	雌	21	756,952	1,006	2,456
苫小牧	去勢	4	814,000	1,144	2,377
	雌	3	755,667	1,106	2,335
早来	去勢	26	896,000	1,190	2,665
	雌	13	762,769	1,019	2,383
追分	去勢	2	949,500	1,105	3,014
	雌	2	808,000	0,941	2,734
厚真	去勢	21	881,905	1,152	2,676
	雌	19	774,947	1,064	2,456
穂別	去勢	24	876,208	1,148	2,680
	雌	18	773,056	1,050	2,452
とまこまい広域	去勢	118	873,186	1,152	2,656
	雌	76	767,553	1,035	2,444
胆振管内	去勢	195	867,708	1,129	2,648
	雌	120	761,600	1,025	2,424
市場計	去勢	753	842,398	1,116	2,600
	雌	541	727,791	0,988	2,398

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/3月~5月 平成29年2月24日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】

向こう3ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温予想				降水量予想(太平洋側)			
3ヵ月	低20%	並40%	高40%	3ヵ月	低30%	並40%	高30%
3月	低20%	並40%	高40%	3月	低30%	並40%	高30%
4月	低30%	並40%	高30%	4月	低30%	並40%	高30%
5月	低20%	並40%	高40%	5月	低30%	並40%	高30%

3月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

4月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

理事会報告

平成29年1月26日(木)に日胆農業会館で第13回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 12月末の財務報告について
3. 組合員と職員の異動について
・12月末現在 正組合員 981人(前月対比+7人)
准組合員4,288人(前月対比+17人)
4. 固定資産の取得、処分について
5. 決算棚卸立会について(2月1日(水)に実施致しました)
6. コンプライアンス報告について
7. 平成28年度クミカンの収支状況について
8. 平成28年度農業振興基金の結果について
9. 平成29年度産米の作付面積について
10. 平成27年度産米・大豆共同計算結果について
11. 平成29年度原料乳価格について
12. Aコープ歳末謝恩大売り出しの結果について
13. 平成28年度新米キャンペーン推進実績について
14. 店舗改善委員会報告について
15. 12月末決算予測と資産査定結果(11月末)について
16. 本所経営指導委員会報告並びに平成28年度特定組合員営農実績及び特定組合員の貸付について
17. 全日食へのAコープ早来店賃貸に係わる賃貸契約・購買基本契約の締結について



1. 平成28年度目的積立金の取崩と剰余金処分案について



- 議案第1号 北海道常例検査指摘事項に対する平成27事業年度末現在の改善状況等の報告について
- 議案第2号 業績賞与の支給について
- 議案第3号 役員推薦会議運営要領の一部改正について
- 議案第4号 機構改革の実施(職制規程の一部変更)について
- 議案第5号 職員就業規則の一部改正について

- 議案第6号 準職員就業規則の一部改正について
- 議案第7号 定年退職者再雇用規程の一部改正について
- 議案第8号 育児および介護休業規程の一部改正について
- 議案第9号 福利厚生規程の一部改正について
- 議案第10号 ハラスメント防止規程の制定について
- 議案第11号 出資の減口と譲渡について

平成29年2月22日(水)に総合営農センターで第1回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 組合員の異動について
・1月末現在 正組合員 986人(前月対比+5人)
准組合員4,300人(前月対比+12人)
3. 固定資産の取得、処分について
4. 余裕金運用結果について
5. コンプライアンス委員会報告について
6. 北海道報徳善行賞の受賞について(追分地区の山口定夫氏が受賞致しました)
7. 平成28年度地域貢献結果について
8. 正組合員資格審査の結果について
9. 北海道信連に貸付した「永久劣後ローン」の返済について
10. 内部監査結果について
11. 平成28年度内部監査業務活動報告について
12. 経営定期点検の結果について
13. 平成28年度理事に対する貯金担保貸付および共済担保貸付について
14. TPP締結阻止に向けた関係資材の取扱いについて
15. 労働保険組合の平成28年度徴収・納付結果について
16. 平成28年度農産物調製の結果について
17. 平成28年度主要農畜産物生産販売・技術対策等について
18. 決算棚卸結果について



1. 総代選挙実施要領について
2. 春季組合員懇談会実施素案について
3. 平成29年度事業の検討案について



- 議案第1号 平成29年度内部監査計画について
- 議案第2号 役員推薦委員の変更について
- 議案第3号 決算基準日資産査定結果について
- 議案第4号 目的積立金の取崩について
- 議案第5号 平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書および剰余金処分案について
- 議案第6号 貯金者データ改善対応及び整備計画等について
- 議案第7号 担保評価基準の設定について
- 議案第8号 貸付金利率の最高限度の設定について

- 議案第9号 理事に対する共済担保貸付および貯金担保貸付の具体的包括承認について
- 議案第10号 同一人及び同一人自身に対する信用供与等の限度額の設定について
- 議案第11号 不良債権の処理方針について
- 議案第12号 出資の減口と譲渡について
- 議案第13号 学経理事、学経監事、員外監事の推薦について
- 議案第14号 業務執行体制の変更(職制規程の一部変更)について
- 議案第15号 理事の貸付について

パート・アルバイト 大募集

- 【業務内容】 アスパラ・ハウレンソウ・ブロッコリー・トマトの選別作業等
- 【期間】 5月上旬～11月上旬迄
- 【人数】 10名～15名程度(男女問わず)
- 【資格】 65歳位までの健康で働ける方(初心者大歓迎!)
- 【時間】 9:00～17:00(時期により変動あり)
※時間・休暇については応相談
(週3日程度でも可能)

- 【給与】 時給820円～(年数・能力に応じて昇給)
※フォークリフトの運転できる方 更に優遇!
- 【待遇】 交通費当組合規定により支給
- 【休日・休暇】 基本:日曜日・その他JAが定めた日
- 【勤務場所】 ○ハウレンソウの選果
厚真本所集荷場(勇払郡厚真町錦町10-2)
○アスパラ・ブロッコリー・トマトの選果
上野選果場(勇払郡厚真町上野367-1)

【お問い合わせ】 JAとまこまい広域農産部そ菜園芸課 TEL 0145-27-2692 担当:厚海(あつうみ) (月曜日～金曜日 AM9:00～PM4:00迄)

お仕事は野菜選別・箱詰め作業です。
ご近所・ご家族・お友達等のご応募も歓迎いたします。

J A 日 誌

2017 3月

16日(木)

第2回企画会議

17日(金)

胆振東部危険物安全協合理事会、第13回JAとまこまい広域ブロッコリー部会定期総会、日胆地区JA青年部協議会定期総会(苫小牧)、白老牛生産改良組合通常総会

18日(土)

19日(日)

20日(月)

21日(火)

第3回理事会、第2回監事会、新採用職員研修会(～22日、札幌)、広域ブロッコリー部会販売推進(～22日、川崎、名古屋)

22日(水)

北海道うるち米共計委員会(札幌)、北海道農協米対策本部委員会(札幌)、厚真町花卉部会販売推進(～24日、沖縄、名古屋)、消費者協会会員がみそ仕込み(厚真)

23日(木)

24日(金)

25日(土)

厚真産ハスカップフォーラム

26日(日)

27日(月)

28日(火)

豆類価格安定基金協合理事会(札幌)
日胆地区女性協議会総会(苫小牧)

29日(水)

30日(木)

広域和牛振興会総会
広域養豚協議会総会

31日(金)

退職辞令交付、新採用職員辞令交付・研修会

2017 4月

1日(土)

2日(日)

3日(月)

総代選挙立候補届受付締切

4日(火)

5日(水)

6日(木)

総代選挙

7日(金)

8日(土)

9日(日)

佐々木勢剛君 岡崎春菜さん結婚祝賀会(苫小牧)

10日(月)

11日(火)

第16回通常総代会、第4回理事会、第3回監事会

12日(水)

13日(木)

14日(金)

15日(土)

J A

からの

お知らせ

JA イベント情報

白老支所 春の園芸フェア

白老支所の駐車場で開かれる園芸フェア。園芸作業に欠かせない肥料や農薬・種子からビニールハウス等の温床資材や畑を耕す管理機を展示販売。

たんとうまいや白老産牛肉ハンバーグなど園芸資材以外の商品も取り扱っています。

開催日時 4月8日(土)～9日(日)午前9時～午後3時

場 所 白老支所駐車場



厚真 農機・自動車展示販売会

春の農機・自動車・部品等資材の展示販売会です。農機具類各種をはじめ、中古車・新車も数多く取り揃えて皆様のご来場をお待ちしております。会場ではあたたかいおそばも無料配布しており、当日来場者には粗品もプレゼント。この機会に是非お越し下さい。

開催日時 3月24日(金)午前9時～午後4時
25日(土)午前9時～午後3時

場 所 厚真支所職員駐車場



穂別支所 春の小農機具展示会

穂別支所の資材店舗前で開かれる小農機具展示会。農業用の道具から刈払機や管理機などの小農機具まで展示販売。種や肥料など春に向けた資材も。毎年多くの来場者で賑わいます。

開催日時 3月22日(水)午前9時30分～午後3時

場 所 穂別支所生産資材店舗前

